

ワケ カタチには理由がある(4)

～フェアリー・アルバコア雷撃機



(前作ソードフィッシュ雷撃機と)

本機は、英国海軍の雷撃機です。フェアリー社の前作ソードフィッシュが旧式然としていながら、英国海軍の栄光を作った数々の作戦で名前を残し、この前作と常に比べられてしまうという運命が、この機体の不運の始まりだったのでしょうか、今や「駄作機」代表の一つとなっています。名著「世界の駄作機」(岡部ださく(いさく)著 大日本絵画)第1巻で、2章に亘って解説されるほどの機体です(「ウルトラマン」ならゴモラ、「ウルトラセブン」ならガッツ星人といったところのエース級駄作機ですw)。密閉風防となり居住性能が向上し、航続距離も大幅に伸びたのに、評価が低いのは、そのあか抜けない外観にも理由があるように思います。都会風のコーデをしてみたけれど、どこか野暮ったいといったような。前作のソードフィッシュは田舎の作業服感覚だけど、ヘビーデューティーでカッコよかったと…。模型を写真撮影して、カッコ良く見えるアングルに限られる、ということも実感しました。パイロットが命を預ける軍用機、パイロットの士気を高めるためにも、その姿も重要だという気がします。

【模型について】

スペシャルホビー(Special Hobby)製 1/72 のインジェクションキットです。昔、ペガサスから簡易インジェクションキットがでていましたが、それに比べると断然作りやすいキットです。特に、複葉機で密閉風防という特異な形態のため、上翼の付け根をキャノピーで支えることになるのですが、その点、このキットはしっかりとしたキャノピーパーツが入っていて、苦勞が半減します。(中川裕幸 2021年2月)